

珪藻土は発ガン性物質なの？答えは NO です！

発ガン性物質であるかどうかを世界的規模で研究し、格付けしている権威ある研究機関は、WHO（世界保健機構）の傘下にある IARC（国際ガン研究機関）※です。

日本・アメリカ・ドイツ・フランス等々それぞれの国で独自に格付けしているのではありません。

IARC では珪藻土のすべて〔未焼成品及び融剤添加焼成品（白色珪藻土）〕を非結晶性シリカに分類しており、非結晶性シリカはグループ3に分類されています。

※発ガン性物質について、IARC を上回る世界的規模の権威ある研究機関は他には存在しません。

IARC による主な分類と種類は以下のようになっています。（2008年11月現在）

グループ1:ヒトに対して発ガン性がある

(carcinogenic to humans)

喫煙・アスベスト・PCB・石英・アルコールなど105種

グループ2A:ヒトに対して恐らく発ガン性がある

(probably carcinogenic to humans)

ディーゼルエンジンの排気ガス・紫外線など66種

グループ2B:ヒトに対して発ガン性がある可能性はある

(possibly carcinogenic to humans)

漬物・コーヒー・わらび(山菜)など248種

グループ3:ヒトに対する発ガン性については分類できない

(cannot to classified as to carcinogenicity in humans)

お茶・カフェイン・コレステロール・**珪藻土**・シリカゲルなど515種

グループ4:ヒトに対して恐らく発ガン性がない

(probably not carcinogenic to humans)

カプロラクタム(ナイロンの原料)のみ1種

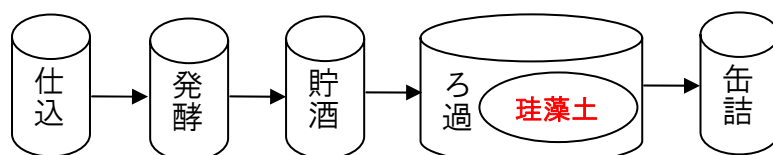
※ IARC(国際ガン研究機関)とは？

1969年、ヒトへの化学物質の発ガンリスクの評価と、個々の化学物質に関する専門書をつくるために発足した世界的規模の研究機関。WHO(世界保健機構)の附属機関で、ガンの国際共同研究を助言することを目的としている。ガン撲滅のため、これまでに800種類以上の化学物質などの発ガン性について評価発表してきた。

グループ3にランク付けされている融剤添加焼成品(白色珪藻土)は目詰まり物質を燃焼除去した最高品質の珪藻土で、しかも食品添加物として認可されています。

そのためビール会社やワイン・日本酒・砂糖・醤油・製薬会社など、高純度な製品を提供する多くの業界がろ過剤として大量に使用しています。

因みに、弊社と同じ府中市内にあるサントリー武蔵野ビール工場の見学者向け配布リーフレットにも、珪藻土を使ってる過しているということが記載されています。



※ビールのろ過

珪藻土を使い、熟成を終えたビールから酵母などを取り除きます。

目詰まりした珪藻土を有機肥料として再利用

※各ビール会社では、見学可能なビール工場が全国に多数あります。機会がありましたら見学してみてください。

では、なぜ発ガン性物質であるという噂が壁材業界だけに立っているの？

弊社は珪藻土メーカーから、目詰まり物質を燃焼除去した最高品質の融剤添加焼成品(白色珪藻土)を購入し、1991年、日本で初めて白色珪藻土壁材を創作し施工しました。

これをきっかけに珪藻土壁が日本全国に広がり始め、それにつれ多くの会社が珪藻土壁材業界に参入してきました。

こうして多くの珪藻土壁材が氾濫するようになり、「珪藻土壁でなければ壁にあらず」「単なる塗壁材でも珪藻土という名前をつければ売れる」という風潮が生まれてきました。

このような状況は珪藻土以外の原料で壁材を作っているメーカーやその関係者にとって面白いはずはなく、対抗策として壁の品質で勝負するのではなく、まったく根拠の無い風評風聞を色々なルートを使って流し、珪藻土に悪いイメージをもたせ、結果として自社の壁を売ろうとしているのです。

また、ビニールクロスなどで簡単に施工を済ませたい建設会社が、施主に珪藻土壁の施工を断念させる口実として使っているとも考えられます。

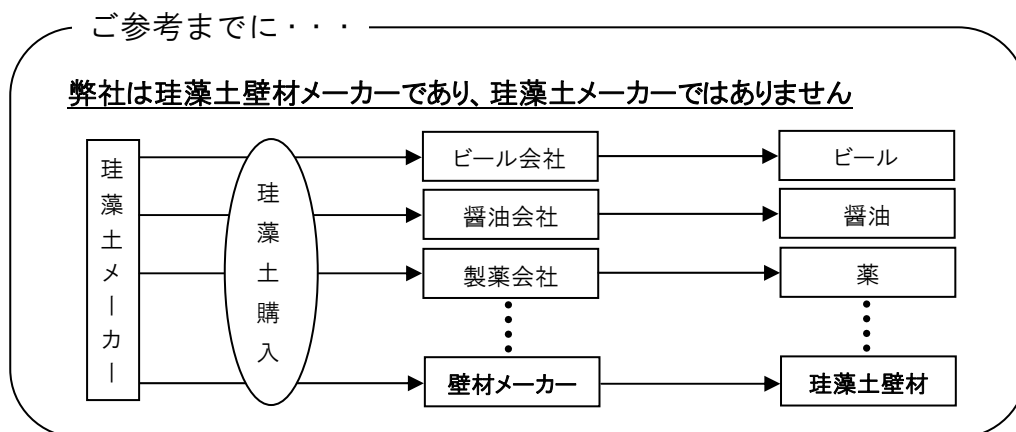
※珪藻土が発ガン性物質であると主張する人がいたら、それを証明する学術資料をいただいで下さい。

日本ケイソウド建材の珪藻土壁<エコ・クィーン>創作者は、35年以上も前から発ガン性物質について知っていた人間です

身内が大気汚染の予測(アセスメント)会社を設立。大学1年生の時から成田空港予定地周辺で、空港開港後の大気汚染の状態を予測するアルバイトを始め、引き続き、茨城県鹿島地区など日本全国にある工業予定地の大気汚染の予測業務に従事しました。

その後「住友3M」に入社し、米国の石油化学技術とその応用の素晴らしさを実感する反面、様々な化学物質の弊害・怖さを知りました。この時 PCB(ポリ塩化ビフェニール)などが発ガン性物質であるということを勉強しました。

そして45歳の時に珪藻土に出会い、以来20年、人・動植物を健康に導く空気を室内で作る壁を作り続けています。珪藻土壁材作りへの情熱、安全で高品質な壁という点では、どこのメーカーにも負けない自信があります。



2009年11月